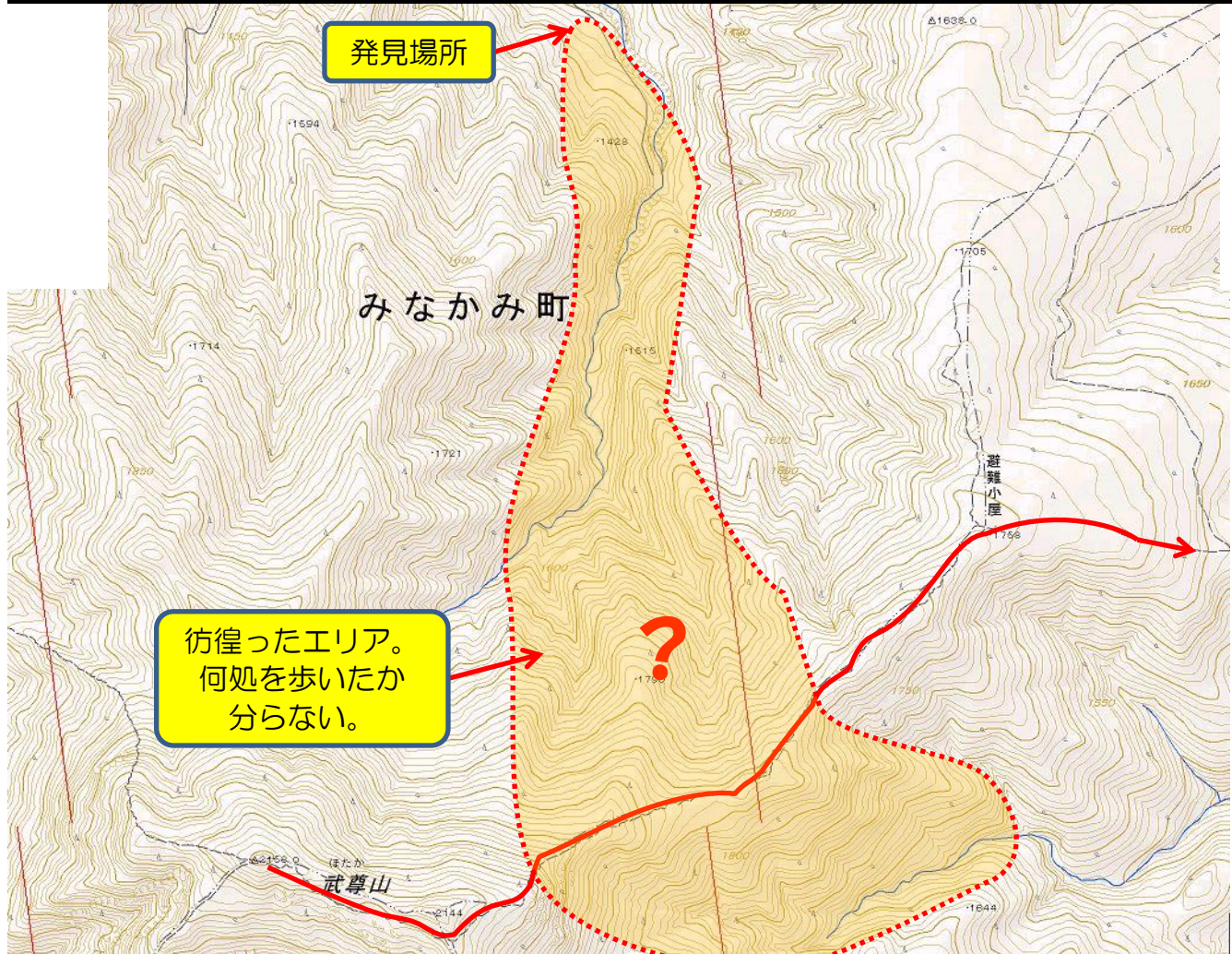


## 上州武尊山遭難(2002年5月)

残雪期の下りで道に迷う。迷ってすぐに「あ、これ違う」と気付いたが、綺麗な川があったため誘われるように近づいていった。引き返そうと思った時、転倒し、斜面を数メートル転がり落ち登り返すことができなかった。そこから4日間、ササ藪を彷徨うことになった。



## 解説

日帰り登山の予定で、武尊山に登る。道に迷ったことにすぐに気付くが、戻ることはしなかった。綺麗な景色が何気ない行動に結びついた。斜面を滑り落ち、登り返そうと格闘したが、登れない。下ることもできないため、初めてのビバークを決めた。翌日、やっとの思いで斜面を登ったが、その先には背丈以上もあるササ藪がまっていた。

ヘリコプターが上空を飛んでいたが、筐の中では気づかれない。ササ藪を進むと再び沢に出た。沢を下れば武尊牧場に出ると思ったが、沢は下れなくなってしまった。やはり、尾根に登らないといけないと斜面を登り返す。その日は尾根まで着かなかった。翌日もササ藪との戦いが始まった。立ち止まると気が狂いそうになり、とにかく進んだ。あと少し、あと少し、と思いながら歩いていたら主稜線を越えて北側の斜面に入り込んでいた。既に冷静さは皆無だ。沢を下っては行き詰まり、斜面を上がってササ藪をこいでは、また沢に出る。

4日間彷徨い続け、林道にでて助けを求めた。雨が降らず、天気が良かったのが幸いした。

初期の行動がすべてを決める。おかしいと思っても進んでしまうのが「道迷い」。冷静さとは何か。何気ない行動は、理論が無いことが多い。おかしいと思ったら、裏付けをもって行動したい。